

令和5年度 学校関係者評価会議 議事録

日時：令和6年5月28日 14:30～15:15

場所：錦秀会看護専門学校（一部オンラインによる参加）

出席者1：（学校関係者評価委員）

中本 光信（地域住民、元公立中学校校長）

原田 遥（卒業生）

西口 綾乃（卒業生）

Web会議システム「Zoom ミーティング」により参加

笹倉 清美（医療法人錦秀会 本部医務局看護部 部長）

太田 富美子（医療法人錦秀会 本部医務局看護部 部長補佐）

欠席者：

榎林 剛（錦秀会グループ総本部 管理局 副局長）

星名 照美（卒業生）

出席者2：錦秀会看護専門学校

多田 直美（副学校長）

山田 直子（顧問）

神藤 めぐみ（看護学科学科長）

田中 奈絵子（准看護学科学科長）

Web会議システム「Zoom ミーティング」により参加

司会：奥田 ゆうこ（事務長）

議題：令和5年度 自己点検・自己評価に対する学校関係者評価

配布資料：

- ・令和5年度自己評価報告書（事前配布）
- ・令和5年度自己点検・自己評価および学校関係者評価会議
- ・令和3年度・令和4年度・令和5年度 自己点検・自己評価 評価結果（事前配布）
- ・学生アンケート（事前配布）
- ・学生生活アンケート

評価項目の内容を一通り説明。外部出席者の方を優先し、コメントをいただく。

○意見 I

1.「教育理念・目的・目標」について

→ (4)～(6)の項目の評価が、過去より低くなっている。これらは教員自身の努力に

関わる項目である。教員の努力をお願いしたい。

2. 「学生の受け入れ」について

→評価は適正と考える。

3. 「学生生活への支援」について

→学生同士の関わりを強くすることを検討して欲しい。

4. 「教育課程」について

→さらなる取り組みの必要性について協議が必要。

5. 「教育活動・教育指導のあり方」について

→大項目5の評価点数の平均は1.44となっており、他の項目に比べて点数が低い。この項目は、教員の資質の根幹の項目であり、努力をお願いしたい。

6. 「実習指導体制」について

→学生に何が問題でどう改善すればいいかを明確に伝えられる指導者が多いとは言えない。多忙であると思うが、体系的に確立された指導を行って欲しい。

7. 「研究・研修活動」について

→5.教育活動・教育指導教と同様に、職員の資質の根幹となるものである。今後の成果に期待したい。

8. 「組織管理・運営」について

→評価は適正と考える。講師会議の定期的な開催によって、授業の質が向上されることを期待したい。

9. 「施設設備」について

→3年間通じて大変良いと思う。学生獲得につなげて欲しい。学生生活アンケートの入学の動機(問2)でも「設備が充実している。」が高く整合性があるように思われる。

10. 「社会への貢献」について

→積極的に取り組んでおられる。ニーズに応じた内容の実現には時間を要すが、地道な努力の継続をお願いしたい。

11. 「予算」について

→職員の意識を高めることは容易ではないが、今以上職員が収支状況を把握するよう努めて欲しい。

12. 「学校評価」について

→正しく評価がなされている。PDCAサイクル化し次年度に活用して欲しい。

○意見

- ・南花台で配布されているコノテラ通信 6月号に、コノミヤテラスで行われているコノテラカフェに錦秀会看護専門学校の学生が参加して、地域の方と交流しているという記事が出ている。最初はボランティアとして参加されているのかと思ったが、地域看護実習として授業に取り込んで行っていると聞いた。

地域と学校にとってウィンウィンの関係にもなっており、素晴らしい活動だと思う。地域の者にとって、大変うれしい活動である。今後もこのような機会を増やしていただきたい。

・学生生活アンケートの希望・要望の自由記載欄に対して、学校からのフィードバックを明確にし、学生の理解を深める機会があればいいと思う。

多田副学校長より

多忙な中お集まりいただいたこと、貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げます。地域との関わりを大切にしながら、全ての項目をブラッシュアップ出来るよう取り組んで行きたい。引き続き皆様のご支援・ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。と述べられた。